



ほうえいばし
豊栄橋と串良川 (串良町岡崎・東串良町池之原)

昔

 昭和30年11月

今



串良川の上に架かる豊栄橋。左の写真は昭和30年11月9日に撮影された2代前の橋です。この日は、新しく架け替えられた鉄骨製の橋(先代)が完成した日で、写真に写る黒山の人だかりは、撤去を前に名残をしのび集まった人々。ちなみに現在の橋は平成17年9月に竣工されました。今も昔も東西串良を結ぶ大切な橋です。



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!

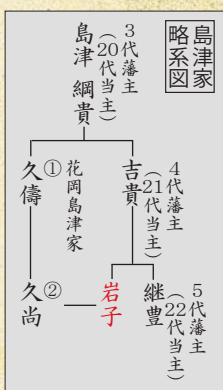
カノヤタイムトラベル

しまづいわこ 島津岩子による用水路建設

享保9年(1724年)6月、3代薩摩藩主・島津綱貴は、次男の久儔に、大始良郷内の木谷村などを与え、翌10年(1725年)7月には、木谷を花岡と改めて、花岡島津家を興せました。

しかし花岡は、昔から水に恵まれず、飲料水はもちろん、田地の灌漑にも困り、よく旱魃が起る土地でした。開墾の意思を示した初代・久儔でしたが、実現できないまま、享保14年(1729年)、世を去ります。

久儔の跡を継いだ2代・久尚の夫人・岩子(5代藩主・島津継豊の妹)は、領民たちの長年の水不足に心を痛め、安永2年(1773年)9月、飲料水供給や灌漑対策を兼ねた用水路建設の大事業を敢



行しました。



「島津岩子夫人之碑」は、水田を見渡すように建っている

高隈山麓の清流を引き、水量が豊かな高須川上流の堤防を修築。山腹を開け、数か所の隧道を設置し、1里(約4km)以上の用水路を整備する難工事でした。

領民たちもその重い任務に応え、安永9年(1780年)10月、7年以上かけて、ついに用水路を完成させました。これにより20町歩以上が開田し、その後も次々に新田が開かれていきました。

岩子は温厚で、学を好み、書や琴をたしなむ女性で、領民から尊敬されていたと伝えられています。昭和37年10月、市は、岩子が行った用水事業を顕彰するため、旧鶴羽小学校裏の木谷城跡(鶴羽城山公園)に碑を建てました。